

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[ 安城市立安城南部小学校 ] 担当教諭名[ 稲田 史恵 ] ( 6年1組 36名 )  
 交流相手国[ ガーナ ]  
 海外学校名[ Synergy Star International School ] 担当教諭名[ Seidu Anass ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	つながろう世界の仲間たち	70

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	つながろう！日本とガーナ
絵に込めたメッセージ	お互いにつながりを意識しながら日本とガーナの文化や風景などを表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムでやりとりする中で、相手の国の文化や性格などについて肌で実感し、さまざまな視点から理解することができた。</li> <li>・相手の国に日本のことを知ってもらおうという思いで制作した壁画完成に大きな達成感を得ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手国のネット環境の悪さや教師同士の連絡がうまく取れず、連携が足りなかった。</li> <li>・見通しが立たず、壁画制作の時期が發送ぎりぎりになってしまった。</li> <li>・語学の壁もまだあるように感じた。</li> </ul>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年で取り組み、自クラス以外の2学級は、卒業式に完成した壁画を展示したり、地元の新聞「安城ホームニュース」に掲載していただいたりした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内展示は、大きな壁画に他の児童が興味深そうに見ていた。卒業式では、保護者の方に見ていただき喜んでみえた。</li> <li>・他学級の作品を見ながら、「早く来ないかな」と、自分の学級の作品が届くのを楽しみにしていた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	1学期 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の子どもたちのつながる方法を考え、話し合う。</li> <li>交流国とやりたいことを考え、計画を立てる。</li> <li>自己紹介をフォーラムで行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めは、ボランティアのイメージが強く、募金活動や相手に何か物を送るという感じだったが、「心のつながり」を意識することで、「一緒に何かをやりたい」という方向へ向かった。</li> </ul>	総合20
情報収集	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーナについて、個人の知りたいことを中心に調べた。</li> <li>みんなが相手に伝えたいことを話し合い、動画やフォーラムを使って交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーナの食べ物など日本との違いについて興味をもって調べることができた。</li> <li>自分たちのことをもっと知ってほしいという思いで、修学旅行や学芸会のことといった学校行事や安城七夕まつりといった地域のことなどをフォーラムで伝えた。</li> </ul>	総合30
テーマ検討	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同壁画制作に向けて、壁画チームの子が中心となってテーマを決めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの子にアンケートをし、それぞれの思いを組み合わせ、活動した。相手校とはなかなか連絡が取れず、相談する時間もなかったため、私たちの案で進めていくこととなった。</li> </ul>	総合8
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>下絵は壁画チームが行い、色塗りは、全員で行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作時期が發送ぎりぎりとなってしまったのでばたばたと慌ただしかったが、みんなで気持ちをこめて一生懸命制作した。完成した時は、とても喜び、学級での一体感を感じた。</li> </ul>	総合8
鑑賞	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>JICAの方から話を聞きながら、絵を鑑賞した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガーナでの生活の絵の違いを見ながら話を聞くことで、ガーナとのつながりを感じることができた。</li> </ul>	4月

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	フォーラムや壁画の中で相手に何を伝えるのか考えることを通して、自分の住んでいる日本の良さを実感した。
異文化の理解	B	4	アートマイルがなければきっと知ろうともしなかったガーナについて、少しでも理解しようと、フォーラムで聞く姿があった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	英語を翻訳するのは苦勞していたが、意味が分かれると相手と通じ合った気持ちになった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	インターネットやインタビューなどを通して情報収集していた。また、活動報告を通して、自分たちがしていることを発信することができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	話し合いでは、みんなの思いが取り入れられるように考えていくことで学級での人間関係が深まった。交流相手とはいまいだった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	大きく4つのグループに分かれ、それぞれ自分の仕事に対し責任をもって行うことができた。
学習を追究する意欲	A	3	なかなか返事が来ず、他学級との交流の差を感じ、意欲が低下した面もあったが、自分たちができることをやろうと努力していた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	C	2	富士山や着物など日本の伝統文化を中心に描きあげた。
作品を鑑賞する力	C	3	ガーナの絵をもとに、ガーナの生活を感じることができた。